

平成27年度 総合型地域スポーツクラブ



クラブマネジャー養成講習会 I 期開催!

クラブマネジャー養成講習会は、総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が快適なスポーツライフを送ることができるよう、クラブの運営に必要なマネジメント能力を有する人材の養成と資質の向上を図ることを目的としています。7月4日・5日に開催されたI期では、2日間で延べ58名の方が参加されました。



中西先生



八代先生

【講師】

八代 勉先生(筑波大学名誉教授)
中西 純司先生(立命館大学産業社会学部教授)

【事例発表クラブ】

コミュニティスポーツ城南
Kaminosekin Dreams

講師を務めていただいた先生方、
事例発表していただいたクラブの方々、
大変ありがとうございました



事例発表



講習会の様子

総合型クラブ行事予定

- クラブマネジャー養成講習会 II 期
日時: 平成27年8月29日(土)、30日(日)
場所: 山口県セミナーパーク
- 総合型地域スポーツクラブフェスタ
日時: 平成27年10月25日(日)
場所: スポーツ文化センター
- 総合型地域スポーツクラブ交流大会
スポーツカーニバルin小野田2015
日時: 平成27年11月21日(土)
場所: おのだサッカー交流公園 ほか

わくわく(輪く和く)通信

Vol.2



平成27年8月

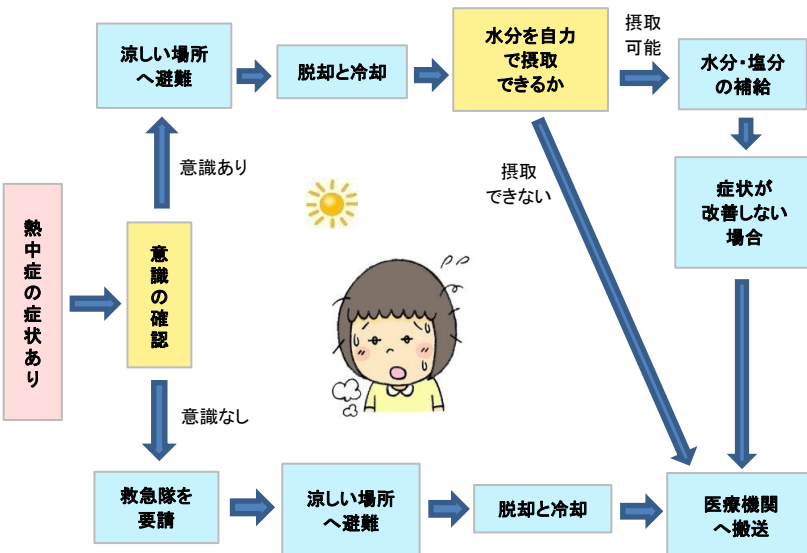
広域スポーツセンターだより

～熱中症～

暑い日が続いていますが、この時期にとくに気をつけたいといけなのが熱中症です。熱中症は、症状により重症度Ⅰ度(軽度)、重症度Ⅱ度(中程度)、重症度Ⅲ度(重度)の3つに分けられます。乳幼児や高齢者は特に注意が必要となります。乳幼児は大人より新陳代謝が活発であるため、体温が高いのが特徴です。その上、大人に比べて汗腺の発達が未熟なため、うまく体温調節をすることができません。高齢者は脂肪が付きやすくなる分、身体の中の水分の割合が少なくなります。加えて高齢者は暑さやのどの渇きを感じにくく、水分を十分に摂ることが難しいのも原因となっています。

熱中症の症状

- 【Ⅰ度】めまい、失神
筋肉痛・筋肉の硬直 など
- 【Ⅱ度】頭痛、吐き気、嘔吐
倦怠感、虚脱感 など
- 【Ⅲ度】意識障害、痙攣、
手足の運動障害、高体温 など



クラブ紹介

宇田ふれあいクラブ

平成23年4月に設立し、5年目を迎える宇田ふれあいクラブは、“だれもがふれあい、いつでも、どこでも、いつまでも”気軽にスポーツや文化活動に参加することができる環境の整備や会員相互の親睦を図るとともに、地区の生涯スポーツの振興と地域コミュニティの活性化を目指して活動しています。

Q.クラブ設立を目指すきっかけを教えてください。

A.宇田地区には、保育園、小学校、中学校がありません。子どもの減少により、近隣の地区と統合して、廃れていく様子が見えており、このままでは寂れて元気がなくなるのではないかと不安がありました。以前から、様々なサークル活動が盛んに行われており、これを一つに集約することで、いつでもどこでもいつまでも元気に楽しく過ごすことができるのではないかと思います、設立を目指すことになりました。

Q.クラブの問題点を教えてください。

A.少子高齢化が進んでおり、クラブ会員も高齢化し、会員が年々減少しています。地区外からも会員を募集していますが、なかなか応募はありません。また、若い世代が少ないため、後継者育成も難しい状況になっていることです。



■会費[年]

小・中学生： 500円
高校生以上：1,000円

■活動種目

ウォーキング・ソフトバレーボール
グラウンドゴルフ・ソフトボール
ボーリング・コーラス・銭太鼓など

出合いちょうクラブ

出合いちょうクラブは、「元気！出合づくり」をスローガンに平成22年3月に設立しました。出合地区体育振興協議会と協力しながら、地域のスポーツ環境を充実させています。クラブの活動として、小学校でカローリングの指導や、老人会でグラウンドゴルフの指導も行っています。

今回は、会長の岩間さんにお話を伺いました。

Q.クラブの自慢は何ですか？

A.クラブの活動種目は少ないですが、ソフトバレーボールに若い世代会員が増加しています。また、会員同士の仲もよく対外試合や地域内の大会にも積極的に参加し、地域内のスポーツ行事を引っ張っています。

Q.クラブの問題点・課題を教えてください。

A.出合地区の人口減少です。それに伴い、クラブ運営委員及び指導者も不足しています。地域内でのクラブの認知度がまだまだ低いのが現状なので、周知活動を行い、認知度を高めていくことが必要であると考えています。



■会費[年]

一般：3,500円
65歳以上：2,500円
中学生以下：2,000円

■活動種目

ソフトバレーボール、ビーチバレーボール
グラウンドゴルフ、カローリング

和木スポーツクラブ

平成26年4月に設立された和木スポーツクラブは、子どもたちの「運動離れ」を食い止め、中高年の心と体の保持増進などを目的とし、スポーツ活動・文化活動の連携を図ることによる地域内の交流を深め、心豊かな町民生活の実現を目指して設立しました。現在は、和木町体育協会と連携し活動を行っていますが、今年度から総合型クラブでのイベントを開催する予定です。そんな和木スポーツクラブの今を、理事長の小倉さんにお聞きました。

Q.新たなイベントについて教えてください。

A.今回で18回目となる蜂ヶ峯クロスカントリー大会を今年度で終了する見込みです。代案として誰でも参加できるウォーキングや、体力測定等を中心とした、和木スポーツフェスタを計画しています。そのためにもウォーキングクラブを立ち上げ、活動の範囲を広げたいと思っています。ゆくゆくは健康作り活動やウォーキングの継続によりポイントを加算し、ポイントに応じて商品等を贈呈できる仕組みのポイントカード制度を作ることも考えています。

Q.企業との連携についてを教えてください。

A.和木町には大きな企業(工場)があります。企業のOBの方々には様々なノウハウを持っておられるので、それを地域に活かせる場を作り、地域活動に貢献していただけるように働きかけていきたいと考えています。



■会費

※イベントごとに徴収予定

■活動種目

陸上競技・剣道・ソフトボール・テニス・卓球
ソフトテニス・バドミントン・ビーチバレー

【広域スポーツセンター問い合わせ先】

- ・東部広域スポーツセンター(徳山大学内) TEL 070-5305-0674
- ・中部広域スポーツセンター(山口県体育協会) TEL 083-933-4697 FAX083-933-4699
- ・西部広域スポーツセンター(東亜大学内) TEL 070-5305-8917